

令和4年 3月24日

保護者のみなさま

札幌市立藻岩小学校

校長 西村 裕子

『My (マイ) 国語辞典』の取組について（ご協力のお願い）



『My (マイ) 国語辞典』とは.....

国語辞典は小学校3年生からの学習内容になっていますが、本校では、来年度より1年生から6年生までの全校児童一人一人に国語辞典をもたせる取組を始めます。この取組は、国語辞典の使い方を学ぶということだけではなく、様々な効果が期待できます。

こんなことをねらった取組です。

- ① 子どもたちが“言葉”にふれるきっかけを増やしていきます。
- ② 言葉を正しく理解する、言葉を正しく使うなどの『言葉の力』を高めていきます。
- ③ 国語辞典を手元に置いて、“どんなことでも辞書を引く”という習慣を付けていきます。
- ④ “調べる・調べたい”という態度や意欲を、より強く、育てていきます。



例えば、こんなことをしていきます。

- ① 知らない言葉だけでなく、知っている言葉も国語辞典で調べてみます。
⇒ “へえ～っ!” という、おもしろい発見ができます。
- ② 動物の名前をいくつか探せるかな？
⇒ これも、国語辞典に親しむためのきっかけ作りになります。
- ③ 授業中、調べたくなったら、どんどん調べてみます。
⇒ 「調べなさい」と言われたからでなく、自分から。
- ④ 調べた言葉に、付箋紙やマーカーペンで、通し番号や印をつけてみることも。
⇒ 調べた言葉の積み重ねが数になると、意欲が。



国語辞典の用意に、ご協力ください！

【裏面へ】

(6年生の実践)

国語辞典を用意していただくにあたって……

1 どんな国語辞典をもたせたいのか……

- ① 国語辞典の指定はしません。
 - ・全員に同じ国語辞典をもたせようとするものではありません。
 - ・説明の異なる国語辞典を子どもたちがもつことで、お互いの調べたことを交流したり、違いについて考えたりするなどの効果も生まれてきます。
- ② 国語辞典を選ぶポイント
 - ・書店の国語辞典売場で、辞典を手にしてみますと、実に、様々なものがあります。そして、中を開くと、書体も異なり、文字の色も工夫していたり、理解を深めるためのイラストがついていたり、紙の質もいろいろです。
 - ・そんな中から選ぶ時には、次のようなことに注目してみてください。

- ◆言葉の解説文に、全てふりがながついていること。
 - ⇒ 特に低・中学年は、ここを意識してください。
- ◆収録語数が2万語～3万語のもの。
- ◆複数の国語辞典で同じ言葉を調べてみて、子どもがピンとくるもの。
- ◆“版”を重ねているもの。（〇年〇月 第〇版 〇刷 などの表示で）
 - ⇒ 版を重ねているものは、使い勝手がいいと考えられますね。

2 実際に使い始めたら……

- ① ケースとカバーは、外してきてください。
- ② 調べた言葉の足跡を残すことも大事です。下の二つの方法のうち、必ずどちらかは用意してほしいと思います。お子さんと相談しながら取り組んでいただくと、さらに効果的です。
 - ・“付箋紙”（ポストイット）を使う方法
 - 1) 調べた言葉を付箋紙に書く。
 - 2) 調べたページに、その付箋紙を貼る。
 - 3) 付箋はなくさないように、付箋入れ（小さいタッパーや、ポーチでも）を用意していただき、辞書と一緒に置いておきたいと思います。
 - ・“蛍光ペン”を使う方法
 - 1) 調べた言葉をペンで塗る。
 - 2) 蛍光ペンは、太い線が引ける物が使いやすいです。
- ③ 国語辞典を使いこなすには、辞典に直接、線を引いたり、書き込んだりするなど、いつまでもきれいに使おうと思わないことです。「こんなに調べたんだあ！」という実感を子どもたちにもたせたいなあと思います。

~~~~~  
全校、全学年、全学級で国語辞典を活用させていただきます。

『My 国語辞典』の取組へのご理解とご協力を、よろしくお願ひいたします。

~~~~~  
～ご検討の上、4、5月末までに用意いただければと願ひます。～
~~~~~